

「もっとはらこめし ずっとはらこめし 推進事業」について

1. 事業目的

○地産地消・郷土愛の醸成

小学生によるサケ稚魚放流、荒浜漁港での水揚げ、各家庭、店舗において、地域で漁獲されたサケを地域で消費する地産地消の活動を通じて、「はらこめし」の消費拡大を図るとともに、漁業者と消費者を結び付け、「はらこめし」の魅力を町民に再認識・再発見を図る。また、「はらこめし」発祥の地として姑から嫁、母から子へ世代を超えた「はらこめし」という食文化の伝承による郷土愛の醸成を図る。

○知名度向上

本町における観光コンテンツの調査結果から、「はらこめし」を食したことがあるとの回答者が58.8%と半数を占め、満足度も高い結果であったが、本町を訪れたことがある回数は、5回～2回と回答した者が多く、リピーターの増加にまでは至っていない。このことから、「宮城県亘理町＝はらこめし」としての知名度向上を図り、リピーターの増加を図る。

○ブランド力向上

秋には、各店舗に「はらこめし」を求めて来る客で列をなしているが、店舗のブランド力の差により、「はらこめし」提供食数等に偏りがあるのが現状である。また、店舗のブランド力の向上なくして、地域の活性化が図られないことから、各関係団体と協力し、「はらこめし」のイベントを開催し、出店によるPRを通じて店舗のブランド力向上を図る。

2. 財源

地方版総合戦略に定められた自主的・主体的で先導的な事業を記載して作成した地域再生計画に基づく事業の実施に要する経費に充てるため、国が交付する地方創生推進交付金を活用する。(補助率1/2 上限 事業費ベース1億円)

3. 今後のスケジュール

本日の亘理町地方創生総合戦略委員会において、平成28年度の実施事業の効果検証結果に基づき、「もっとはらこめし ずっとはらこめし 推進事業」の事業内容を検討していく。